



伊勢崎市立名和小学校 学校通信 第37号 令和5年 3月24日

# 名和小だより

学校教育目標 よく考え工夫する子 思いやりのある子 がんばりのきく子  
(未来のための三つの心 自立心 向上心 思いやりの心)

## 一年間 大変お世話になりました



今年度もコロナ禍ではありましたが、ここ2年間、できていなかった活動の多くは再開することができました。再開するにあたり、本来の目的から見直しを行い、今までと同じ形で行うのが良いのか、それとも新たな内容や形で行うのが良いのかを検討し、実施をしてきました。子どもたちはこのような変化にも戸惑うこともなく、新しい形を自分たちで考えたりして、今ある状況の中で最善の方法を常に考えていました。行事やいろいろな経験を通して、子ども達はこの一年で心も体も大きく成長をしました。

全校職員、全力を挙げて本校の教育活動にあたって参りました。至らぬ部分もあったかと思いますが、この一年での子どもの成長を目のあたりにし、心からほっとしているところでもあります。保護者の皆様におかれましては、この一年、ご理解とご協力を賜りありがとうございました。また来年度も、よろしく願いいたします。



## 感動の卒業式

3月23日(木) 令和4年度卒業証書授与式が行われました。式の中での6年生の姿は、6年間の成長を感じさせる立派な姿でした。堂々と歩く姿、背筋を伸ばして話を聞く姿勢、証書を受け取る態度、そして心に響いた「お別れの言葉・合唱」、素晴らしい卒業式でした。式辞では「おおきな目標と小さな一歩」について話をしました。これは「大きな目標」へたどり着く方法はいろいろありますが「小さな一歩」を踏み出さないことには目標にたどり着きません。そして、この小さな一歩に間違いはなく、どんな一歩でもそれは確実に目標に向かっていくということです。これからの人生、成功することもあれば失敗することもあります。失敗も小さな一歩であり、どんなときも一歩ずつ前向きに生きてほしいという願いを込めて話をしました。

そして、卒業式に参加した5年生。6年生と一緒に卒業式の雰囲気盛り上げていました。緊張感のある中で姿勢を崩さない強い気持ち、そして気持ちの入った「お別れの言葉」。6年生の姿をしっかりと目に焼き付け、最上級生になる覚悟を決めているかのような姿でした。来年度の新6年生の活躍を楽しみにしています。期待しています。

## 来年度の行事予定の変更

2月28日付けの学校通知における「1学期の主な行事」に関する一部の変更です。

- 5月 2日(金) 授業参観・学級懇談会・PTA総会(紙面開催)  
【PTA総会(紙面開催)は変更無し】



- 5月26日(金) **授業参観・学級懇談会**

## 楽しかった2年生

2年

わたしは、図工のじゅぎょうで「パタパタストロー」のべんきょうがーばん楽しかったです。なぜかという、じょうずにでき、かわいくできたからです。こんどはちがう図工のじゅぎょうでもがんばってかわいくできるといいと思います。まえの「まどからこんにちは」のべんきょうは、カッターをつかったのであまりじょうずにできませんでした。今ならじょうずにかわいくできると思います。

三年生になってもべんきょうや図工、まだまだたくさん楽しいことがあると思います。友だちがたくさんふえたらうれしいです。これからもがんばっていきたいと思います。

## 一年を振り返って

5年

私は一年間を振り返って

返って思い出に残っている事が三つあります。

一つ目は、運動会の組み立てです。なぜかというできない技とかをたくさん練習したり、立ち位置を覚えたり、校庭を走り回ったりして大変だったけれど本番のときにしっかりと技をきめることができたからです。

二つ目は、委員会です。4年生ではなかった委員会の仕事をやらなくてはならないことになりました。前期では、緑化委員会に入りました。私は、朝起きるのがにがてなので学校に早めに行ってお花に水あげをするのは、すこし大変だったけど楽しかったです。後期では、保健委員会に入りました。保健委員は、休み時間や昼休みにせっけんやトイレットペーパーのほじゅうをする仕事をしました。ポスターを作ったり、文章を読んで放送したりして、やっぱり大変だったけれど先生と仲良くなれてよかったし、楽しかったです。

三つ目はマーチングです。最初は音が出なくて不安だったけれど、6年生がコツとかをやさしく教えてくれてふけるようになりました。しかし、6年生との練習がなくなって曲をふくようになってから、タンギングがうまくできなかつたり音がうまくでなくなつたりしました。だから練習を少しの時間だけとじていました。すると、だんだん音が出てきてマーチングの練習をするのが楽しくなってきました。何かができなくても、練習を少しずつでもしていくと、だれでもできるようになれるんだなと思いました。

私は6年生になったら、何でもあきらめないで色々なことに挑戦できる6年生になりたいです。

## 子供の成長のためにできること

それは良い体験を与えることです。良い体験とは、頑張ってやってみたら、認められた、ほめられた、という体験です。

決して叱ることで、ありません。言葉で教えることでも、ありません。ほめられて嬉しいと思った感情は、次の挑戦のエネルギーになります。叱られるとエネルギーが減ります。

良い体験を繰り返すことで、いろいろな能力が身につきます。勉強だって、同じです。ほめられることで挑戦する意欲がわいてきます。子どもは必ず親離れをしていきます。その挑戦の繰り返しこそが大人になったときの一人で生きる力となります。今から、少しずつ力をつけていきましょう。

どうかあせらずに保護者自身がお子さんの小さな変化、成長を楽しみながら見守っていきましょう。